

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

キッズボンンド大福

調査期間：令和5年12月11日～令和6年1月31日 回答職員数： 10名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	0	・指導訓練室、学習室、多目的室があり十分な広さを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	9	1	・適切に配置されている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	4	・入口の階段に手すり等があると良い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	0	・毎朝、室内や送迎車などの掃除や安全点検を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	1	・毎日、一日の初めにミーティングをその日の担当職員が行っている。参加していない職員には業務連絡帳で必ず伝えている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	・保護者に評価表を配布している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	0	・ホームページで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	9	・行っていない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	・定期的に研修を受けている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10	0	・ASISTを取り入れて前回の計画を評価して作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	0	・当社用のテンプレートがある。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	0	・相談支援専門員と連絡を取りその子に合った支援計画を作成している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	・児童発達支援計画に沿った支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	0	・話し合っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	・話し合いをして固定化をしないようにしている。その子に合った無理のない活動を実施している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	10	0	・支援計画に基づいて個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	・放デイと一緒に活動の場合児発に合わせた配慮をしている。 ・活動は担当者を中心に打ち合わせをしっかりと行うようにしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	2	・その日の気になったことなど話し合い共有をしている。その時に参加していない職員全員に共有できるようにしていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	・その日に必ず記録をしている。記録の書き方などを職員間で共有している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	1	・原則、半年に一度のモニタリングを行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	0	・子どもの状況に最もふさわしい物が参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	2	・十分な利用ができていない。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	5	・医療ケアを必要とする子どもが現在のところいない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	6	・医療ケアを必要とする子どもが現在のところいない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	2	・必要に応じて情報の共有、相互理解を図っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	1	・必要に応じて情報の共有、相互理解を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	1	・必要に応じて行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	4	・現在のところ活動の機会はない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	4	・現在のところ参加できていない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	・送迎時などに様子を伝えている。 ・必要に応じて子どもの状況や課題について伝えあっている。 ・定期的に保護者との面談や日々の連絡を通じ共通理解を持っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	4	・定期的に保護者の面談や日々の連絡を通じ支援を行っているが十分ではない。
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	・契約時に丁寧に説明を行ない質問にも分かりやすく応じている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	0	・支援計画の援内容の説明を行ない保護者らの同意得ている。

	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	・保護者の都合の良い時間、日時に合わせるなどして相談に応じている。 ・原則、半年に一度のモニタリングを行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	6	・会を開催するまでに至っていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	・相談や申し入れがあった場合は速やかに事業所内相談などの適切な対応を取っている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	0	・毎月「キッズボンド通信」を保護者に配布し、HPで活動の様子を伝えている。翌月の行事予定も「活動予定表」を配布している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10	0	・書類は鍵付き書庫で厳重に保管し、HP上の写真は保護者の同意を得た上でモザイクをかけている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	・分かりやすく伝えるように配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	4	・地域住民を招待することはできていない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	0	・マニュアルを策定し伝えている。室内壁面に表示してある。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	・毎月、火災、地震、水害の避難訓練を行っている。R6年度は災害ではないが、不審者対応も行って行く。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10	0	・薬の服用、アレルギー、てんかん発作などの子どもの状況は必ず見学時、契約時、モニタリング時に確認している。予防接種を受けたときはメールや連絡帳、帰りの送迎時に伝えてもらっている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	2	・現在の所食物アレルギーの子はいない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	・事業者内だけではなく会社全体で共有し研修も受けている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	・虐待を防止するための、職員の研修に必ず全員参加している。アンケートを毎月行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10	0	・身体拘束について、児童保護者とも説明をして了解を得ている。運営規定に記載している。